

# 全国保健師長会の研修等の実施状況 ～自治体との連携～

保健師に係る研修のあり方等に関する検討会 資料  
(平成28年3月)

全国保健師長会



# 全国保健師長会の研修目的



## 活動テーマ

「地域における保健師の保健活動に関する指針」に基づいた保健師活動の体制整備と保健活動の推進

## ★ブロック研修・・・全国 8ブロックで実施

- ・運営会議メンバーと協力し全国8ブロック毎にテーマを決定
- ・情報交換・研修会などの各ブロックのニーズに沿った自主的な活動を推進する
- ・会員以外の若手保健師との積極的な意見交換・交流を行うよう都道府県支部に働きかける

## ★各都道府県支部等研修会の特徴

さらに各地域の課題に即した、保健師活動指針・人材育成マニュアルの活用等の研修を企画し実施

# 平成27年度全国保健師長会 各ブロック研修の核となるテーマ



## ①「保健師活動指針」を基にした保健活動の検討

- ・地域に責任を持った活動の推進
- ・統括的な役割を担う保健師の位置づけの明確化
- ・人材育成の推進

## ②保健師活動実践報告

## ③研究報告

ソーシャルキャピタルの醸成にかかる保健師の能力形成に関する研究

# 自治体にとってのメリット

- 管理期や指導的立場にある保健師が、組織を超えたネットワークを構築することができ、指導的立場の保健師の役割意識の醸成や相互の仲間意識を高める機会ともなり、有用な機会となっている。
- 他自治体の取組状況等の情報を得ることで、業務上の課題、組織内の保健師の統括的役割の遂行、人材育成などの抱える課題解決の方策の糸口となる。
- 研修等を通じた全国的な保健師ネットワーク構築による現状や課題、取組事例の共有から、自治体の規模や組織特性を踏まえた保健施策・事業の構築、自組織の円滑な保健事業の実施につなげることができる。
- 管理期や指導的立場にある保健師が、専門的視点を持った保健施策の指導者としての研鑽を積む機会の一つとなっている。

# 全国保健師長会にとってのメリット

- 全国保健師長会会員の、活動上の課題を活動方針に繋げ、テーマを共有することにより、会員相互の有効な情報交換ができる。
- 国の動向を見据えながら、公衆衛生看護活動の目指す姿が描け、自組織の活動に反映できる。
- 全国保健師長会の保健師ネットワークにより、他組織の保健師活動の取組の現状を知り、自組織の課題解決のための参考となる。
- 研修や人材育成の実施を通して、参加者が所属する組織の声を、全国保健師長会の活動に活かし、全国の保健事業の充実につなげる発信ができる。
- 研修受講後、組織への復命等により全国保健師長会の活動が周知され、会員の獲得につながる。